


事項	デルフィニウムピンク花色新系統「青フラDe1交15号」の特性		
ねらい	デルフィニウムのオリジナル品種の花色バリエーションを拡大するために、品質・揃いが良いピンク花色の系統「青フラDe1交15号」を育成し、その特性を明らかにしたので普及に移す。		
普及する内容	<p>1 育成経過</p> <p>「青フラDe1交15号」は花色がピンクの選抜自殖系統「青フラDe1 8号」を種子親として、同系統と海外導入実生を交配して得られた選抜自殖系統「6 Pi 1」を花粉親として交雑した一代雑種品種である。</p> <p>2 特性</p>  <p>青フラDe1交15号 (H23. 7. 29撮影)</p> <p>【花 色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がく片は上部及び基部とも淡紫ピンク色の八重で花色が揃う</li> <li>・花弁の色は白である</li> </ul> <p>【開花期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月定植で7月中旬に開花（中生）</li> <li>・「アストラット」（中生）と同等で、「MFライラックピンク」（晩生）よりやや早い</li> </ul> <p>【特 徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り花長が長く、適度なボリュームがある</li> <li>・品質、開花期とも揃いが良く、荷がまとまる</li> <li>・花色は澄んだピンクである</li> <li>・「アストラット」、「MFライラックピンク」に比べて日持ちが良い</li> </ul>		
期待される効果	既存品種には無い花色で、柔らかな色合いから他の花にも合わせやすく、ブライダル等の需要が見込まれる。		
普及上の注意事項	<p>1 切り花長とボリュームを確保するため4月定植の作型を基本とする。</p> <p>2 2番花は収量、品質とも劣る傾向がみられる。</p> <p>3 越冬1番花では「アストラット」、「MFライラックピンク」と同様に花色が青味がかかることがある。</p> <p>4 種苗供給は平成24年度以降の予定である。</p>		
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 花き部 (0172-52-4341)	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成11～20年 試験成績概要集（フラワーセンター21あおもり）</p> <p>平成21～23年 試験成績概要集（農林総合研究所）</p> <p>平成23年度東北農業研究成果情報</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 生産力検定結果 (1番花)

(平成22~23年 青森農林総研)

系統・品種	定植年月日 (年月日)	採花盛期 (月・日)	採花期間(日) (始期~終期)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	小花数 (個)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	採花株率 (%)	商品率 (%)	良品率 (%)
青フラDe1交15号	H22.4.22	7.16	11	116±14	65±11	52	5.7	122	51	90	98	83
	H23.4.22	7.17	14	125±19	73±12	52	9.0	133	60	96	98	96
	H23.5.21	8.3	11	96±12	45±9	29	6.0	69	31	98	84	31
	H23.6.21	8.31	20	67±10	26±9	17	4.5	40	17	94	17	0
アストラット	H22.4.22	7.15	20	103±19	59±15	52	5.0	90	45	55	85	55
	H23.4.22	7.23	20	128±31	70±20	52	8.1	121	59	55	86	75
	H23.5.21	8.3	16	91±19	42±14	30	5.2	54	29	82	63	15
	H23.6.21	9.3	22	72±16	33±12	25	3.9	38	18	50	36	5
MFライラックピンク	H22.4.22	7.21	16	85±17	48±13	54	5.6	95	44	72	60	19
	H23.4.22	7.22	22	96±18	53±15	52	8.6	122	54	84	88	40
	H23.5.21	8.2	13	70±16	34±13	26	5.8	51	26	84	38	2
	H23.6.21	8.28	18	46±12	19±8	17	3.5	21	11	70	0	0

- (注) 1 場内(黒石市)における調査結果である  
 2 切り花長、花穂長：平均値±標準偏差  
 3 調整重：花穂長の2倍となる様に全長を調整後、10cm刻みに切り揃え、重量を測定  
 4 採花株率：定植株数のうち採花できた株の割合(%)  
 5 商品率：採花本数のうち花飛び等のない調整長が70cm以上の切り花の割合(%)  
 6 良品率：採花本数のうち花飛び等のない調整長が100cm以上の切り花の割合(%)

表2 現地適応性試験 (1番花)

(平成22~23年 青森農林総研)

試験場所	調査年	系統・品種	調査日 (月・日)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	小花数 (個)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	生存株率 (%)
中泊町	平成22年	青フラDe1交15号	7.12	120	66	55	5.7	126	57	11
		アストラット	7.12	131	81	46	5.6	114	56	17
		MFライラックピンク	7.12	104	59	49	5.7	116	58	6
	平成23年	青フラDe1交15号	7.15, 7.21	116	69	55	8.9	131	65	39
		MFライラックピンク	7.15, 7.21	87	53	47	8.3	108	49	26
		MFライラックピンク	7.15, 7.21	87	53	47	8.3	108	49	26
三沢市	平成22年	青フラDe1交15号	8.12	127	71	62	7.2	175	68	80
		アストラット	8.6	117	59	38	6.1	124	48	63
		MFライラックピンク	8.6	92	46	38	7.1	133	57	75
	平成23年	青フラDe1交15号	8.23	102	56	60	9.6	110	55	97
		アストラット	8.23	109	53	62	9.2	118	51	94
		MFライラックピンク	8.23	85	45	43	10.0	121	47	96

- (注) 生存株率：平成22年 中泊町9.16、三沢市9.22、平成23年 中泊町9.14、三沢市10.5に調査

表3 日持ち調査

(平成23年 青森農林総研)

系統・品種	日持ち日数	備考
青フラDe1交15号	12.5±1.5	退色、青変とも少なく、1週間経過後もそれほど劣化しない
アストラット	8.5±0.7	がく片の脱落、青変とも多い
MFライラックピンク	9.3±0.6	退色は少ないが花弁が脱落し、子房の膨らみが目立つ

- (注) 1 日持ち日数は全小花の1/3の萎凋、あるいは落花までの日数とした  
 2 数値は平均値±標準偏差  
 3 平成23年4月定植1番花を用いて調査

表4 市場性評価

(平成23年 青森農林総研)

調査項目	青フラDe1交15号 (育成系統)	アストラット (市販品種)	MFライラックピンク (市販品種)
全体の印象	3.8	2.8	2.5
バランス	3.7	2.9	2.9
花の密度	3.6	2.9	3.4
花の色	4.1	3.0	3.4
花の大きさ	3.7	3.5	3.2
花の数	3.6	3.1	3.4
茎の堅さ	3.4	2.9	3.7
総合的商品性	4.1	2.9	2.8

- (注) 1 5：非常に良い 4：良い 3：普通 2：悪い 1：非常に悪い  
 2 数値は各項目の平均点

表5 2番花および越冬1番花の切り花品質と生存株率

(平成23年 青森農林総研)

試験場所	調査日(期間) (月・日)	系統・品種	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	小花数 (個)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	生存株率 (%)	備考
場内 (黒石市)	9.15~10.31 2番花	青フラDe1交15号	67	29	12	3.8	40	18	71	
		アストラット	81	34	20	3.6	36	19	53	
		MFライラックピンク	73	29	25	5.5	50	25	54	
現地 (三沢市)	6.13 越冬1番花	青フラDe1交15号	129	63	77	13.2	197	86	69	花色は育成系統および品種とも青味がかかる
		アストラット	114	61	60	11.7	134	71	53	
		MFライラックピンク	100	47	68	12.2	160	89	60	

- (注) 生存株率：黒石市 9.20、三沢市 4.21に調査

表6 耕種概要

年次	耕種概要	場内(黒石市)	現地(中泊町)	現地(三沢市)
平成22年	定植日	4/22	4/21	6/11(ボットに鉢上後、定植)
	栽植様式 マルチ 施肥 N:P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> :K <sub>2</sub> O (kg/a)	床幅80cm、株間20cm、 条間20cm、4条植え 白黒ダブルマルチ 1.5 : 1.5 : 1.5 (適宜追肥)	床幅80cm、株間15cm、 条間20cm、4条植え 白黒ダブルマルチ 農家慣行	床幅80cm、株間20cm、 条間20cm、4条植え 白黒ダブルマルチ 1.3 : 1.3 : 1.3 (適宜追肥)
平成23年	定植日	4/22、5/21、6/22	4/20	6/20(ボットに鉢上後、定植)
	栽植様式 マルチ 施肥 N:P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> :K <sub>2</sub> O (kg/a)	床幅75cm、株間15cm、 条間15cm、中1条あけ4条植え 白黒ダブルマルチ 1.5 : 1.5 : 1.5 (適宜追肥)	床幅60cm、株間15cm、 条間15cm、4条植え 無し 農家慣行	床幅100cm、株間20cm、 条間20cm、4条植え 白黒ダブルマルチ 鶏糞施用 (適宜追肥)